

2010 年度 事業報告書

2010 年度は、チョコレートやバナナ、衣料品など、様々な新しい産品カテゴリーにフェアトレード市場が広がり、チャレンジングな1年であった。拡大する市場に応え、そして認証ラベルの信頼性を維持・向上させていくため、監査体制を強化すべく監査人の増員、中長期ビジョン・ミッションの策定、オンライン顧客管理システムの導入、事務所の移転など、組織基盤の強化にも取り組んだ。

1. 認証・ライセンス事業

< 1-1 市場動向概況 >

	2010 年度 (2011 年 3 月 31 日時点)	前年度	前年比
FLJ 登録組織数 (輸入、製造、卸、販売業者など)	130	91	42.8%増
ライセンス (最終製品の販売者・ブランドオーナー)	63	59	6.7%増
フェアトレード認証製品推定市場規模	16.7 億円	14.7 億円	13.6%増
ライセンス料収入	16,708,218 円	14,672,849 円	13.8%増

事業計画に据えていたバナナ市場の開拓とチョコレート商品化の両方が実現されたものの、いずれも年末からの発売だったこともあり、ライセンス料収入予算として目標としていた前年比 30% 増の 1,900 万円には届かず、13.8% 増程度の成長率に留まった。

< 1-2 新規登録企業 >

企業名	産品カテゴリー	役割
(株)千趣会	コットン	ライセンス
ダボ合資会社	ナッツ&オイルシード (シアバター)	ライセンス
アルデバラン(株)	ナッツ&オイルシード (シアバター)	製造組織
大東カカオ(株)	カカオ	製造組織
(有)フェアトレーディング	コーヒー	製造組織・ライセンス
双日食料(株)	カカオ	卸組織
ハマダコンフェクト(株)	カカオ	製造組織
(株)ローヤル	バナナ	輸入・製造・ライセンス
(株)キャメル珈琲	コーヒー	製造組織・ライセンス
日本珈琲貿易(株)	コーヒー	卸組織
キーコーヒー(株)	コーヒー	製造組織・ライセンス
住友商事(株)	コーヒー、ナッツ&オイルシード	輸入組織

< 1-3 主なマーケットの動き >

スターバックス	毎月 19 日・20 日・21 日「フェアトレードコーヒーの日」スタート (4 月～)
ミニストップ	チルドカップ・缶コーヒー発売 (5 月 11 日～本数限定)
日本クラフトフーズ	キャドバリー デイリーミルク発売 (7 月～)
わかちあいプロジェクト	大豆・豆関連商品スタート (納豆、豆腐、煎り大豆、あずき) お菓子類スタート (ココナッツオイル、雷おこし、羊羹、金太郎飴)
ミニストップ	ストレートティ PET500ml 発売 (8 月 3 日～本数限定)
ベルメゾン (千趣会)	FLO 認証コットン女性用衣料品発売 (8 月～)
Cafe & Meal MUJI	全店で FLO 認証コーヒーに切り替え (9 月 1 日～: 全国 14 店舗)
イオントップパリュ	国産初 FLO 認証チョコレート (11 月 9 日～: 全国 3,500 店舗)

ミニストップ	アジア初 FLO 認証バナナ (11 月 30 日～：関東以北 1,050 店舗)
カルディーコーヒー	FLO 認証コーヒー発売 (12 月～：全国 205 店舗)
スターバックス	高品質新ラインナップ「スターバックス リザーブ™」(2 月 23 日～：51 店舗限定)
神戸屋レストラン	FLO 認証コーヒー導入 (3 月～)

< 1-4 監査業務 >

(1) 監査人増員

100 社を超える FLJ 登録下の企業・団体に対する監査頻度を上げ、フェアトレード認証制度への信頼を高めていくため、FLO-CERT と協働で新しく監査人を追加で 2 名採用し、育成を行った。2011 年度から監査人 3 人体制で進めていく。

(2) オペレーター (以下 OP) (*)への監査実施

2010 年度監査計画に従い、監査人寺田寛重氏により 10 社に対して監査を実施。当初は合計 14 社を予定していたが、東日本大震災の影響で 4 社は延期となった。

実施状況

ライセンサー	1 社
製造+ライセンサー	5 社
製造	1 社
輸入業者+製造・卸業者+ライセンサー	3 社
合計	10 社

監査人の指摘事項

- ① プレミアムの支払いについて、プレミアム金額の誤り、支払い遅延が見られた
⇒プレミアムの支払いに関する情報周知と指導が必要
- ② 取引書類及び FLO 生産物 (現物) に「FLO フェアトレード認証、ID 番号」の記載がない
⇒取引書類及び現物へのトレーサビリティの徹底の指導が必要
(輸入生産物については、FLO 本部から生産者への指導が必要)
- ③ 加工を外部委託している委託元が委託先に対して FLO 基準遵守、ラベル管理等の指導をしていない
⇒加工を外部に委託している OP に対して、委託先を管理するよう指導すること
- ④ 自家焙煎組織で、製造記録、ロス率、販売記録、ラベル使用記録を残していないものがある
⇒実績数値の記録とその保存についての指導が必要

(*)オペレーターとは、FLJ とフェアトレード登録契約およびライセンス契約を締結し、フェアトレード認証原料の輸入、製造、卸、販売などを行う企業・団体の総称。

< 1-5 その他 >

- ・ライセンサー意見交換会開催 (11 月 4 日)
- ・「キャンペーン企画サポート委員会」立ち上げ (ライセンサー・協力企業 8 社メンバー)

2. 普及啓発・広報事業

< 2-1 主な自主事業 >

講演活動	セミナー、シンポジウム等での講演 (22)
メディア対応	テレビ (6)、新聞 (3)、雑誌 (11)、Web (3)、その他 (4) 書籍 (4)、教材 (12)
キャンペーン	・2010 フェアトレード月間「フェアトレード 100 万アクションキャンペーン」実施 ・2011 フェアトレード月間の共同企画「キャンペーン企画サポート委員会」立上げ
広報誌発行	「FAIRspirits vol.4」5 万部発行
通年事業	・ウェブサイト ・メルマガ配信 (購読者 1,121) ・教材、販促ツール販売 (FAIR spirits, DVD、ポスター、POP、T シャツ) ・一般問い合わせ対応

< 2-2 その他 >

- ・チョコレート・アライアンス 2011 「いっしょにチョコレート！キャンペーン」への参加 (12月～3月)
- ・メディアリスク対応：BS ドキュメンタリー「甘いチョコレート、苦い現実」(12月17日)
- ・大日本印刷グループ：ツイッター・コミュニティサイト『エルネ・パーク』でFT応援企画 (2月22日～)

3. FLO・FLJ ネットワーク活動

< 3-1 組織基盤強化事業 >

(1) 事務所移転

5月に事務所を移転し、FLJ 単独で独立した事務所を構えるという 1993 年の団体設立以来の目標が達成された。今後の事務局スタッフ・ボランティア増員にも備えた十分な作業スペース、大人数での会議スペースが確保され、関係企業・団体との連携活動の幅が広がった。また、訪問客に関心を持ってもらい、次への商品化に繋がるヒントとなるよう、製品展示スペースで最新商品を紹介している。

(2) 中長期ビジョン策定

組織運営の根幹となるビジョン・ミッションを改めて理事会と事務局とで確認・共有。今後 5 年間のありたい姿、そこに向かうための戦略と目標を設定。フェアトレードの拡大・深化・強化を戦略に据え、市民社会、企業、行政へのフェアトレードの浸透を目指していく。

(3) 役員と事務局からなる「運営委員会」の新設

理事会とは別に「運営委員会」を毎月 1 回開き、組織基盤強化のため各種規定類の整備 (給与規定、退職金規定、その他内部規定各種) に取り組んだ。

(4) オンライン顧客管理システム (CRM) の導入

セールスフォースの CRM を導入し、ライセンサーなど登録組織の基本情報や商談記録などをオンライン管理。これまでマニュアル作業で複数のエクセルファイルで管理していた顧客情報を一元管理できるようになり、業務が大幅に効率化した。また、データの誤削除や誤送信といったリスクも解消され、セキュリティの高いデータ管理が実現した。加えて、現在の登録企業・団体のカテゴリーごとの数の把握や、売上状況などのグラフ作成も可能となり、今後、市場拡大のための戦略を立てる上でも有効なツールになっていく。

(5) 会計コンサルティング

より明瞭な収支決算書類を作成し、事業の透明性と信頼性を高め、より多くの支持者（フェアトレード参加企業・団体ならびに個人サポーター）を獲得するため、税理士によるコンサルティングを受け、これまで不十分だった事業部門ごとの会計処理の導入に取り組んだ。

※(2)(4)(5)は、2009年に採択されたパナソニック NPO サポートファンドからの助成事業「ライセンス・認証業務データベース構築事業」の一環で取組んだ。

< 3-2 FLO ネットワーク関連 >

(1) FLO 副理事長イアン・ブレットマン再来日 (11月)

- ・ FLO の新しいガバナンスモデル構築のため理事会との協議
- ・ ステークホルダーとの市場拡大に向けた協議

(2) フェアトレード基準改定

- ・ 茶の基準改定
- ・ カカオ価格改定
- ・ コーヒー価格改定
- ・ 複合原材料製品基準設定準備

(3) その他

- ・ FLO 年次総会への出席 (6月)
- ・ 韓国フェアトレード・マーケティング組織設立に向けた FLO との調整

< 3-3 連携活動 >

- ・ JANIC 正会員 (6月通常総会への出席)
- ・ フェアトレード推進会議への参加
- ・ フェアトレード・タウン運動の推進 (「一般社団法人フェアトレードタウン・ジャパン」法人化への参画)
- ・ チョコレボ・アライアンス 2011「いっしょにチョコレート! キャンペーン」への参加 (12月~3月)

4. 組織運営関連

< 4-1 FLJ の内部監査 >

8月30日、監査人寺田寛重氏による FLJ に対する内部監査を実施。

監査での指摘点

- ① 申請企業・団体の許可基準の明確化や認証手続き、業務手順書の作成は図られてきたが、認証取消手順、意義申立て手続き、認証と監査実施手順などについて明確化を図る必要がある。
- ② 税理士等の業務委託者との機密遵守責任を明確にすること。
- ③ ライセンシーは四半期報告を行うことになっているが、報告の提出が遅いもの、報告様式が守られていないものが見られる。さらに指導する必要がある。
- ④ ライセンス規定、料金規定の改定に伴い、新しいライセンス契約及びフェアトレード登録契約への契約更改が必要である。契約更改対象は54社あり、2011年12月末までに完了するよう取り組む必要がある。

< 4-2 会員・サポーター >

(単位:人)

会員	16 (昨年度末 16)
サポーター	34 (昨年度末 32)

(1) 通常総会開催

日時： 2010年6月8日(火) 19時～21時

場所： FLJ事務局

議題： 審議事項 第1号議案： 2009年度 事業報告
第2号議案： 2009年度 決算報告
第3号議案： 事務所移転に伴う定款変更の承認
報告事項 1. 2010年度 事業計画
2. 2010年度 予算
3. 役員変更

(2) サポーター活動

サポーターの集い開催： 2010年12月15日(水) 19時～21時 於：FLJ事務局

< 4-3 理事会運営 >

(1) 理事会開催 (計8回開催)

・第1回：2010年4月21日(水) 13時～16時

議題 1. 2009年度 監査実施報告
2. 2009年度 決算承認
3. 2010年度 予算承認
4. 2010年度 事業計画

・第2回：2010年6月8日(火) 17時～19時

議題 1. 理事の変更
2. 監査人増員対策
3. 会計コンサルティング活用の是非
4. 砂糖の例外認証の是非
5. 消費税外税化の是非

・第3回：2010年7月17日(土)～7月18日(日) - 1泊2日合宿形式

議題 1. 規定類の策定(退職金規定、給与規定、役員規定、役員旅費規定)
2. 理事会・事務局の体制強化(運営委員会の設置、アドバイザー制度)
3. 財政基盤強化
4. 業務範囲の明確化とリスク管理
5. 中長期ビジョンの策定

・第4回：2010年10月30日(土) 11時～19時半

議題 1. アドバイザー制度の立ち上げ
2. メーリングリスト運用規定の改定
3. 認証関連事項(砂糖の例外認証、国産品、委託製造の定義見直し)
4. 中長期ビジョンの策定
5. FLO ガバナンスモデル

・第5回：2010年11月3日(水・祝日) 13時～18時半

議題 1. 中長期ビジョンの策定
2. 2011 フェアトレード月間キャンペーン
3. FLO ガバナンスモデル (FLO 副理事長イアン・ブレットマンとの意見交換)

- ・第6回：2010年12月23日（木・祝日）11時～18時

議題1. 中長期ビジョンの策定

- ・第7回：2011年2月21日（月）14時半～18時半

議題1. 中期計画（フェアトレードタウン運動への関わり、CI導入計画）

2. 2011フェアトレード月間キャンペーン
3. 会計体系の見直し
4. 給与体系の承認
5. 個別認証案件の協議
6. FLOの韓国フェアトレード・マーケティング組織立上げへの関わり
7. 2010年度収支見直し

- ・第8回：2011年3月31日（木）18時～22時

議題1. 2011年度事業計画および収支予算

2. 2011フェアトレード月間キャンペーン

(2) 運営委員会の開催（計5回開催）

理事会とは別に、役員と事務局とで月に1回程度集まり、各種内部規定の制定作業など実務会議の場として「運営委員会」を開始。

- ・第1回：7月6日（火）19:00～21:30
- ・第2回：8月4日（水）19:00～21:30
- ・第3回：9月13日（月）19:00～21:30
- ・第4回：10月7日（木）19:00～22:00
- ・第5回：1月7日（金）19:00～22:15